

## 沼津市新市民体育館整備基本計画（案）に関する意見募集の結果について

沼津市新市民体育館整備基本計画（案）について、パブリックコメントを実施し、市民の皆様から貴重なご意見・ご提言をいただきました。ご協力ありがとうございました。いただいたご意見・ご提言及び市の考え方、計画の反映については、下記のとおりとさせていただきます。なお、ご意見・ご提言は、一部を整理・要約しています。

番号	箇所	意見の内容	市の考え方	修正の有無
1	P15～21 第4章「新市民体育館に導入する機能」	新市民体育館の建設は、税金を投入するのだから、ついた予算なりに収めるという安易な考えであって欲しくない。体育館利用者の方の声を反映し、十分な検討を行った上で施設の中身をはっきりと示してほしい。	本計画（案）は、平成24年度に実施した市民アンケート（回答1,820人・33団体）の結果や、平成25年度に策定した「新市民体育館整備基本構想」を基に検討を進めてきたもので、新市民体育館整備の骨格（基本コンセプト・導入機能・施設構成・事業運営等）に利用者の意向を反映した計画となっています。 また、現在、沼津市体育協会に加盟する各競技団体（19種目）との個別協議も継続して実施しており、今後も利用者の意向を把握しながら、詳細な検討を進めていきます。	無
2	P17 4-1 (4)「弓道場」	弓道場を8人立ちにするとあるが、以下の理由・対策により、10人立ち以上の広さにできないか。 <理由> 試合は1チーム3人または5人であり、8人立ちでは中途半端である。審査会も5人単位で行うので、10人立ち以上あれば、これまで分散開催していた審査会が1カ所で行うことが可能となり、団体での利用機会・利用者数の増加が見込める。教室を開催する場合にも、教室・一般の同時利用が可能となる。計画では、現在の2倍近い利用者数を想定しているが、現在より総立ち数が減るため、利用者数の増加は見込めない。逆に減少することも考えられる。 <対策> 矢取り道は、道場内に設置せず館内の共有スペース（廊下）を使用する。更衣室・トイレ等の他施設と共用できるものは道場内に設置しない。	弓道場の広さ（床面積）については、いただいたご意見及び競技団体との協議を踏まえ、実際の利用形態に合わせたレイアウトにすることで、個人・教室利用のみならず、大会・審査会も支障なく開催できるようにするため、想定床面積の範囲内で、近的「8人立（1.8m間隔）→10人立（1.8m間隔）」に修正し、詳細な検討を進めていきます。 また、更衣室・シャワー室・トイレ等の付帯設備については、個別ではなく、全館共用のスペースに設置する計画です。	有
3	P17 4-1 (4)「弓道場」	弓道場は、8人立ち→12人立ちの射場にすべき。 「教室や大会の利用に対応」や「講習会や昇段試験に対応」というコンセプトを見ると、8人立ちは中途半端であり、現在の弓道場で審査や大会で使えないのは道場の狭さに一因がある。また、新弓道場では、現市民体育館（6人立ち）と香陵武道場（8人立ち）の全ての人が利用することになり、8人立ちでは練習ができにくくなる。平日98%、休日92%という稼働率を考えても左記が予想される。仮に道場内に更衣室やトイレの設置を考えての8人立ちであれば、付帯設備を設けるよりも、12人立ちの射場にの方が、今後の弓道界のことを考えると長く使用できる道場となり、子どもたちの育成、生涯スポーツの発展にもつながる。現市民体育館は6人立ちと記載されているが、実際には5人立ちで練習している。6人立ちでは規定の射幅がとれず、美しい体配での練習の妨げとなる。弓道は的中のみならず、真善美をめざす武道であるため、ぜひ、美しい体配が磨けるような広さを持つ、新弓道場の建設をお願いしたい。	同上	有
4	P17 4-1 (4)「弓道場」	弓道の遠的（60m）場の設置を要望する。 <理由> 弓道競技には近的（28m）と遠的（60m）があり、遠的競技には全日本遠的選手権（天皇盃・皇后盃）がある。静岡県は全日本遠的選手権で、去年は男子が、3年前は女子が優勝（日本一）し、天皇盃と皇后盃を獲得しているが、東部地区には三島大社の遠的場しかない。 <対策> 遠的ができるスペースを確保する。後で設置するのは難しいため、設計段階から検討する。	遠的については、競技の専門性が高く、相当の利用者数は見込めないと考えており、また、建設地の敷地条件から競技スペースを確保することも困難であるため、現在のところ遠的場を設置する予定はございません。	無

5	P17 4-1 (4)「弓道場」	<p>&lt;観覧スペースの確保&gt; 弓道普及のためにも、一般の方に見てもらえるための共有スペースや観覧席を確保してほしい。</p> <p>&lt;安全対策&gt; 教室等の初心者にも対応し、矢が弓道場外に飛んで行かないように安全対策を行う。</p> <p>&lt;用具置き場の確保&gt; 徒歩・自転車・公共交通機関による来館者のために、広くなくてもよいので、弓矢等を置くスペースを確保してほしい。</p>	<p>弓道場の観覧スペースについては、館内の通路部分を活かし、窓ガラス越しに見学できるようにするなど、より多くの来館者が気軽に観覧できるスペースを確保する予定です。</p> <p>安全対策については、競技者のみならず観覧者の安全にも十分に配慮した施設計画とします。</p> <p>用具置き場については、施設が管理する共用の備品・道具は器具庫に保管しますが、個人・団体の所有物は公平性の観点から、すべての種目とも、その都度お持ち帰りいただく予定です。</p>	無
6	P18 4-2 (1)-1「トレーニング室」 (1)-2「健康・体力相談室」 (2)「屋内ランニングコース」	<p>新しくできる新市民体育館のコンセプト「スポーツ・健康づくりの拠点」で、一番に考えられている「トレーニング室」の床面積 300 m<sup>2</sup>は、いかがなものか、再考をお願いする。現在のトレーニング場の床面積 416 m<sup>2</sup>（うちランニングコース 70 m<sup>2</sup>）と比較すると、新（案）は 300 m<sup>2</sup>（うち健康相談室 50 m<sup>2</sup>と仮定）のため、72%の大きさとなる。勤労者体育センターのトレーニング室 119 m<sup>2</sup>を合わせると 54%、半分近くに減る。それに対して、年間利用者数は現在の 50,466 人から 25%増の 63,000 人を目標にしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今と同等、ないし今以上の面積の確保を要望する。</li> <li>・今と同様、その時の最新の機器の導入を要望する。</li> </ul>	<p>新市民体育館の各諸室が担う機能と想定床面積は、現在の利用状況と将来目標をはじめ、県内他市の設置状況、建設地の敷地条件、施設の建設・維持管理コスト、民間スポーツ施設への影響等を総合的に勘案し計画したものです。</p> <p>トレーニング室については、現在の市民体育館と比較して床面積は減少しますが、よりコンパクトな最新のトレーニングマシンを導入することに加え、アリーナ観覧席の通路部分を活用したランニングコース（1周 250m程度）を新たに設置するなど、より一層の機能強化を図る考えです。</p> <p>なお、トレーニング室内に併設する「健康・体力相談室」の床面積は、別途 20 m<sup>2</sup>程度を確保する計画です。</p>	無
7	P19 4-3 (2)「更衣室・シャワー室・トイレ」 (4)「空調設備」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シャワー施設の設置を要望する。</li> <li>・空調の導入を要望する。</li> </ul>	<p>シャワー室及び空調設備は、いずれも設置する計画です。</p>	無
8	P19 4-3 (5)「駐車場」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場の無料の継続を要望する。</li> <li>・体育館利用者に対しては、減免または無料にできないか。</li> </ul>	<p>駐車場の料金収入は、将来にわたり、体育館施設を含む計画地全体を維持管理・運営していくための貴重な財源となります。</p> <p>また、駐車場は、新市民体育館及び市民文化センター、市役所の利用者が共用することから、利用者負担の適正化や公平性の観点から市民体育館の利用者のみを減免または無料にすることは難しいと考えています。</p> <p>なお、減免については、対象となる利用者（利用目的）を限定した基準の検討を行っていきます。</p>	無
9	P22 5-1 「建設地の概要」	<p><u>意見 1：建設予定地の弱点</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 道路の混雑（三園橋、三ツ目ガード等）</li> <li>② 沼津駅から遠い（徒歩の場合、荷物をかついで歩く）</li> <li>③ 駐車場と出入口の不便さ</li> <li>④ 防災上、危険立地（津波、川の氾濫）</li> </ol> <p><u>意見 2：現市民体育館を利用する</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① ヨーカドー・イシバシプラザ・労政会館をつなぐ連絡通路</li> <li>② 駅北口より徒歩可能距離</li> </ol> <p><u>意見 3：新候補地（駅直結のアリーナで駅前を活性化）</u></p> <p>駅南口にある富士急ビル、パレットビルの周辺に新体育館を建設し、線路をまたぐ南口・北口の連絡通路で、B i v i ・ プラサヴェルデ・キラメッセ等をつなぐことで、駐車場及び会場・宿泊を共用でき、無駄なく施設を利用できる。</p>	<p>現在の市民体育館は、建設後 40 年以上が経過し、施設・設備の老朽化が著しく耐震性が低いことに加え、建物の構造上の問題から現在の機能とスペースを維持したままの補強工事もできない状況にあります。</p> <p>このことから、現在地での耐震化を断念し、新たな市民体育館を移転・建設することとしたもので、現在の市民体育館は、新市民体育館の供用開始に合わせて除却します。</p> <p>新市民体育館の建設地については、敷地の広さ・交通アクセス・市有地の活用など様々な観点から、旧香陵運動場（現香貫駐車場）に決定したもので、当市スポーツ振興の活動拠点としての機能はもとより、地震・津波など大規模災害時の防災拠点としての役割、駅南商業エリアとの連携による新たな賑わい拠点の創出も期待されています。</p>	無